

教育目標

人権尊重の精神を基調とし、国際社会に貢献できる人間性豊かな生徒の育成を目指す。

- ・自ら学び深く考える生徒
- ・思いやりの心と強い意志をもつ生徒
- ・健康で明るく礼儀正しい生徒

本校の特色（教育課程届より）

生徒の自主的活動を重視し、地域との連携を深め、「真の実践力」の育成を推進する。

これまで地域や明豊中ブロック小学校との連携進めてきたが、これを継続発展させ、生徒自らが主体的に思考し、運営していくことをもって、真の実践力向上につなげていく。そのために、ブロック小学校との連携の取組（リトルティーチャー）を継続するとともに、中学生が地域に貢献する意識の高揚と実践*（小中合同ごみゼロデーその他）を図り、授業をはじめとするすべての教育活動全体の基本におくことを重視し、教育活動を展開する。

目指す生徒の姿

- ・将来の自分の姿を想像し、主体的に取り組む生徒
- ・自他の関わりの中で思いやりを学び、人とのつながりの中で取り組む力をもった生徒

【真の実践力の育成】

- ・自らの考えを的確に表現し、行動につなげる力と意思をもった生徒
- ・健やかな体を保ち、気持ちの良いあいさつができる生徒

○生徒の自主的な活動：行事の実行委員生徒を中心に、企画・運営する力を育む。

○生徒による自治：生徒会本部や学級委員を中心に、お互いを注意できる規範意識の高い生徒を育成する。

1 「知」「徳」「体」の教育内容の充実

・「知」自らが学習することは、自分のためであるとともに、社会のためでもあるとの社会貢献意識を有する生徒の育成を図る。

・「徳」教育活動のあらゆる場面で、思いやりの心を持ち、自他の可能性を信じて行動する生徒の育成を図る。

・「体」保健体育の授業や体育的行事等、教育活動の様々な場面における体育的活動を通して、心身を鍛え、基礎体力の向上を図るとともに、学校医と連携し健康教育を推進する。

2 多様な子どもに対する支援の充実

・特別支援教育コーディネーター及び、巡回指導教員を中心とした校内組織を活用し、特別支援教育の一層の充実を図り、支援が必要な生徒の情報を共有し、個別最適な学びを支えるとともに、関係諸機関との連携を推進し、生徒の内面に根ざした成長を推進する。

・不登校対策支援の充実のため、「めいほうルーム」の活用をすすめ、生徒が安心できる場を設定するとともに、その中で自らの考えや行動を表現することを重視する。

・SSW、外部機関との連携と共有を深め、個々の生徒について状況に応じた支援を充実させる。

3 教育環境の整備

・安全で安心な学校づくりのため、学校環境の整備に努めるとともに、生徒自ら健康的な環境づくりに貢献する能力を育成する。

4 学校と家庭・地域との連携

・地域やPTAと連携し、学校の教育活動の改善と充実を図り、地域の教育力を活かした特色ある学校づくりに努める。

・CSの機能を活用し、地域と共同しながら、適切な学校運営を進め、地域や人とのつながりを深め、郷土愛を育み、地域を支え、地域に貢献できる人材を育成する。

*地域に貢献できる安全教育・防災教育

・発災時の生徒の貢献を視野に、地域と連携して、対応力を高める各学年の取組を行い、実践力を付ける。

*地域連携活動の充実

・生徒会本部役員や生徒の中央委員会が中心となり、地域活動への参加等を充実させていく。

※ 職層を意識したOJTを推進し、授業力を向上させる取組を実践する。